

令和4年度 第72回卒業式 式辞

校長 小松 進一

日に日に暖かさを増し、正門の桜も大きく花を開き始めました。

85名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは本日をもって中学校3年間の全課程を修了されました。本来ならば、この春の佳き日に、杉並区教育委員会をはじめ、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第72回卒業式を盛大に挙行したいところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかったことに対して、卒業生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。皆様に深くお詫び申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、ただ今、一人一人に私なりの気持ちを込めて卒業証書を手渡しました。緊張した表情の中にも充実感や満足感を見ることができ、とても嬉しく、そして頼もしく思いました。振り返ると、皆さんがこの東原中学校に入学したとき、私は、皆さんにこのような話をしました。

「ようやく東原中学校も再開することができました。校庭や正門にある木々の葉も緑色が濃くなってきた季節となり、大変遅くなってしまいましたが、皆さんのご入学を心からお祝い申し上げます。」と。そう入学式は6月2日の午後開式でした。私も未だかつて経験したことのないコロナ禍の中での入学式でした。4月、5月の2ヶ月間は、東原中学校の生徒でありながら、登校することができませんでした。皆さんの安全を確認するためには、皆さんの学習を進めるためには、何ができるのだろうと教職員全員で知恵を絞ったことが思い出されます。

しかし、皆さんの立派な態度を見て、私自身が勇気づけられた入学式でした。あれから3年間、皆さんの成長は、計り知れないものがありました。特に皆さんの素晴らしさを感じ取ったのは、始業式や終業式でのア・カペラによる「校歌合唱」でした。大きな声で歌うことも制限された中でしたが、一年生の時から練習を重ね、伝統を受け継ぎ、校歌への愛着と自信に満ちあふれた歌声を披露してくれたからです。そして、もう一つは、「運動会」や「合唱祭」の行事です。今年度も、コロナ禍のため内容を工夫して実施しました。特に「運動会」では、皆さんにとって初めての一日開催でした。最上級生としての意識をもって、新しい歴史の一ページとして、今までの伝統を越えるほどの「運動会」を成功させてくれました。どの種目に対しても手を抜かず、何を後輩に残していくのか、心をつ一つにして全力で競技する皆さんの熱い姿は、「自由と責任」という校風の中で感動を与え、最高の運動会を創り上げてくれました。

また、「合唱祭」では、「風唄華月」（ふうばいかげつ）をスローガンとして、『風に乗せて歌を届け、東原の伝統をつないでいく』と心を込めて演奏してくれました。本番では、マスクを着用しての合唱でしたが、男子の力強い歌声と、女子の美しいハーモニーの調和が見事に花開き、会場全体を美しさの中にも迫力のある、最高学年にふさわしい、鳥肌が立つほどの合唱は、1、2年生はもちろん、私たち教職員や保護者の皆様を感動させてくれたことは今でも忘れることができません。このように、皆さんは「学校の顔」として、その後の学校生活においてもその存在感を示してくれました。

昨年12月に行った進路に向けた面接練習では、このような質問をしてみました。『中学校3年間で一番学んだことは何ですか？』、ほとんどの卒業生が、『運動会や合唱祭に向けてクラスのみなとの協力、団結力、友情の大切さ、そして、人と人との関わり』と答えていました。『勉強すること』と答えた人もいました。将来、学校そのものが大きく変化をするかもしれない中で、学校で学ぶことの重要性を改めて教えてくれました。人と人が関わることで学ぶことがたくさんあるということです。それはスマートフォンやパソコンに向かうだけでは体験することができない関わり方だと思います。私は、とても嬉しく思いました。皆さんがこの中学校生活でたくさんの人と人との関わりを体験し、時には怒ったり、悲しんだり、喜んだり、そして、助けたり、助けられたり。また、人の考えを聞き、自分の考えを伝えることで自分自身を成長させることができたのではないのでしょうか。是非、このような体験を続けてほしいと思います。

ここで、卒業に際し、皆さんにお願いがあります。皆さんは、4月から高等学校等で学び、さらには大学等に行って社会人となります。これからの社会や世界は、次々と変化し予想も困難となっていくでしょう。「子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」「今後5年から15年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」などと言われています。それは「AI」の発達そして普及により、言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせるからです。さらに、変わっていくのは社会だけではなく、社会の変化に伴い、世界規模で求める「能力」も変化しています。従来の「知識型」から「課題解決型」へと変わってきています。「課題解決型」の能力とは、直面した課題や困難を自らの力で解決する能力のことです。対人関係能力、創造力、学習力、協調性などのスキルや能力も求められます。皆さんは、このような社会の変化の中で生きていかなければなりません。だからこそ、自分の意思や判断で社会の様々な変化に対応でき、積極的に社会と関わりながら生きていくことが大切となります。そして、どのような社会になったとしても、何よりも他者との関わりを大切にし、私たち人間がAIなどに支配されてしまうことがないように、自覚して生きていってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございました。大切に育ててこられた保護者の方々の、今日の日の喜びも感慨も一のことと存じます。この3年間、本校にお寄せいただきましたご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。卒業生の皆さん、皆さんの東原中学校への貢献に敬意を表し、深く胸に刻みます。

本当にありがとうございました。

卒業生に贈る言葉

在校生代表 小林 陽太

校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、暖かな春の日差しを感じる季節になりました。
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。
先輩方は3年間の思いを胸に東原中学校を巣立っていかれようとしています。

思い起こせば、私たちが入学してから今までずっと優しく温かく導いてくださった先輩方、そんな先輩方は私たちにとって大きな存在でした。

2年前、期待と不安を胸に入学してきた私たちを、ア・カペラの校歌と明るい雰囲気を出迎えてくださいました。まだ学校に慣れていない私たちに先輩方はすれ違うたびに、挨拶をしてくださいました。そんな優しく温かな声に、私たちは次第に東原中学校に慣れていくことができました。

運動会や合唱祭では心をつにして真剣に取り組むと最高のものができるということを先輩方の取り組む姿勢から学ばせていただきました。特に運動会では私たちが大縄跳びを跳んでいるとき、一緒に数を数えてくださったり、応援の声掛けをしてくださったりしたことがどんなに力になったことでしょう。応援が大きな力になることを実感した運動会でした。

部活動では体験入部の時から優しく声をかけていただき、すぐに溶け込むことができました。初めて取り組むことも丁寧に教えていただき、先輩方と楽しく貴重な時間を過ごすことができました。

そんな先輩方との数々の思い出の中で最も強く印象に残っているのは、委員会活動です。10月に後期の委員会が始まり、最初の学校委員会の日。2年生が中心となって話し合いが始まりましたが、緊張もあって意見があまり出ず、困っている私たちを察して、先輩方は意見を出してくださいました。会の進め方を、それとなく示してくださったのでした。このとき、先輩方の偉大さを強く感じたとともに、自分たちで頑張って盛り上げていこうという覚悟も生まれました。

東原中学校の伝統を引き継ぎ、常に私たちにかっこいい姿を見せてくださった先輩方。その安心できる大きな存在がない中で私たちはうまくやっていけるか不安でいっぱいです。ですが、先輩方から教えていただいたことを胸にとめ、一つ一つのことをみんなで協力して進めていきたいと思います。そして私たちも先輩方から引き継いだ伝統を、熱意を、次の代へ伝えていきたいと思います。

今日は、私たちの「威風堂々」で先輩方をお迎えしました。そして、精いっぱいの歌声でみなさんの門出を祝福させていただきたいと思います。

先輩方の4月から始まる新しい生活が素晴らしいものになりますよう、お祈りしています。
ご卒業、本当におめでとうございます。そして本当にありがとうございました。

3月16日の送別式にて披露

《主な行事予定》

- 4/6日(木) 始業式・着任式・入学式準備
- 7日(金) 入学式
- 10日(月) 朝礼・全校集会・定期健康診断始
新入生オリエンテーション
- 12日(水) 生徒手帳写真撮影
- 13日(木) 避難訓練
- 14日(金) 新入生歓迎会
- 15日(土) 土曜授業・身体計測
- 18日(火) 国学力調査(3年)
- 19日(水) 専門委員会・学校委員会
- 20日(木) ネットケータイ安全講座(第1学年)
- 21日(金) 保護者会
- 24日(月) 生徒朝会

《保護者・地域の皆様へ》

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校公開や授業公開の制限等、保護者及び地域の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。皆様の本校へのご協力とご支援に感謝申し上げます。

新年度も学校における感染症対策ガイドラインに基づいた教育活動となりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。